

## 平成 30 年度警察署協議会代表者連絡会議の開催概要

### 1 開催日時

平成 30 年 12 月 14 日(金) 午後 2 時から午後 5 時 15 分までの間

### 2 開催場所

警察本部 5 階 幹部会議室

### 3 出席者

- (1) 警察署協議会 警察署協議会会長等 16 人
- (2) 公安委員会 公安委員長以下 3 人
- (3) 警察本部 本部長、各部(室)長、首席監察官、警察学校長等 11 人

### 4 開催概要

#### (1) 公安委員長挨拶

渡部公安委員長は、警察署協議会の趣旨や日頃の意見・提言に対する謝辞を述べた上で、次のとおり述べた。

地域の安全・安心を確保するため、地域住民の意見要望等を踏まえ、警察署長に積極的な意見提言をしていただくとともに、引き続き、地域の方々に対して県警や警察署が進める取組をフィードバックして、警察と地域住民の協働による「安全・安心な社会づくり」にお力添えいただきたい。

#### (2) 警察本部長挨拶

皆さまからいただいた意見要望については、確実に警察活動に生かしてまいりたいので、引き続き、警察署長に対し、地域住民の視点から忌憚のない意見・要望を投げかけていただきたい。

#### (3) 警察本部からの説明

警察本部から「県内の交通事故抑止対策推進状況」について説明を行った。

#### (4) 協議会の活動事例報告

警察署協議会代表者が、各警察署協議会の取組状況について発表した(内容は別紙のとおり。)

#### (5) 発表に対する主な質疑、意見

ア 西条警察署協議会の活動報告に対し、八幡浜警察署協議会会長から、「八幡浜警察署でも警察官が寸劇による広報活動に取り組んでいる。特殊詐欺の手口は多様化していることから、内容のバージョンアップと寸劇を行う機会を増やすよう要望している。」との意見があった。

イ 伯方警察署協議会の活動報告に対し、愛南警察署協議会会長から、「PG(ポイントガード)カードは、大きさも高齢者に見やすくわかり

やすい。事故発生約1か月後に、事故当事者に対して注意喚起のカードを交付することで、交通安全意識の高揚や自主返納促進につながるのではないか。」との意見があり、伯方警察署協議会会長から、「事故後、落ち着いた頃に警察官が優しく注意喚起しながらカードの交付をすることで、当事者も納得するし、安全運転につながる素晴らしい取組と考える。」との発言があった。

ウ 松山東警察署協議会の活動報告に対し、西条警察署協議会会長から、「松山市中心部の道路状況は一方通行規制や路面電車、郊外電車の軌道敷などにより、市外や県外の者にとっては非常に複雑である。危険箇所等を印した道路マップがあればいいと考える。」との意見があり、松山東警察署協議会会長から、「増加する観光客や来日外国人等にとっても同じことが言える。対策の必要性を感じる。是非、松山東署に持ち帰り、検討していただくよう意見したい。」との発言があった。

エ 愛南警察署協議会の活動報告に対し、伊予警察署協議会会長から、「CATVでの広報について住民の反響はどうか。」との質問に対し、「署長をはじめ、若手幹部も出演し、交通事故防止や特殊詐欺被害防止等の呼びかけをわかりやすく行っており、好評である。」との説明があった。

(6) 警察本部長コメント（骨子）

各警察署は、日々県民の安全安心のため、署長以下全職員一丸となって一生懸命仕事に取り組んでいるが、問題は、一生懸命やった仕事が成果に結びついているかということである。各警察署の取組が本当に交通事故の減少や、特殊詐欺の減少につながっているかということに関して、シビアに分析・確認する必要がある。警察本部からも各警察署に対して指導をしているが、警察側の視点だけでは気付くことができない論点があることから、今後とも、積極的に辛口の御意見を警察署に寄せていただきたい。

(7) 公安委員長・委員コメント（骨子）

ア 渡部委員長

協議会の活動には、視察、参加、協働、自主的活動などの各段階がある。まず、警察の仕事を理解するために警察の仕事を視察し、次に見るだけではなく「ひまわりの絆プロジェクト」のような警察行事と一緒に取り組むことで理解を深め、最終的には警察と協働して情報発信活動や警察官の採用活動などに取り組むということかと思う。それぞれの段階において、様々な活動があるが、日頃の皆様の御協力に対して、感謝を申し上げる。

来年、委員の任期の満了を迎え、多くの新しい委員が就任するが、皆

さんが培った知識や考えを、次の世代へと継承していただきたい。

イ 増田委員

今回の西日本豪雨災害では、私自身も公安委員として、発災から約1か月後に宇和島署玉津駐在所などを視察した。災害の持つ恐ろしさを感じるとともに、避難の重要性を認識する機会となった。

公安委員会や警察署協議会など、警察の外側から活動している者の役目は、地域の人にいかにして自分達の持っている知識や情報を伝え、地域の人が実際に行動できるように持っていけるかということになる。交通死亡事故抑止、特殊詐欺被害抑制、今後の大規模災害発生時の避難等、いかに被害を最小限にするのかなどについて、しっかり情報発信、情報共有して住民の方が行動できるように心掛けていただきたい。

ウ 曾我部委員

今回、特に感心したのは「ABC作戦」「PGカード」など、市民に分かりやすいように色々なツールを使った取組がなされていたことである。受け手のことを考えた取組である。今後、訪日外国人なども増えるが、受け手に分かりやすいツールの利用、取組を考えていかなければならない。

先日、東日本大震災に関する講話を聞き、関係機関との連携の大切さを強く感じた。今後発生が予想される南海トラフ大地震に対し、今から自衛隊や消防などの公機関、民間企業との情報共有、連携体制の構築が大切である。

《発表議題一覧》

| 協議会名 | 発 表 議 題               |
|------|-----------------------|
| 四国中央 | 機動隊の視察及び諮問・答申状況       |
| 新居浜  | 答申の反映事例と署の連携状況        |
| 西条   | 本年の警察運営目標達成に向けて       |
| 西条西  | 警察と市民とのかけ橋となる警察行事への参加 |
| 今治   | 警察活動の視察等              |
| 伯方   | 諮問・答申、視察等の状況          |
| 松山東  | 諮問・答申状況、活動状況          |
| 松山西  | 協議会委員の活動報告等           |
| 松山南  | 諮問答申の状況と警察活動の視察       |
| 久万高原 | 警察署と協働した取組            |
| 伊予   | 諮問・答申、視察等の状況          |
| 大洲   | 意見が反映された事例と協議会活動      |
| 八幡浜  | 総合的な災害警備対策の視察         |
| 西予   | 諮問事項・意見反映事例等          |
| 宇和島  | 「チーム宇和島」との連携          |
| 愛南   | 諮問・答申の状況と警察活動の視察      |